

『浜岡原発県民投票』受任者の皆様へ 県民投票を実現するための最後のアクションのお願い

『知事への要望署名』にご協力ください。(はがきの署名用紙を作りました)

- ①知事あてのはがきに署名をし、投函下さい。1言メッセージもお願いします。
- ②署名は直筆が可能であれば、未成年者でも構いません。
- ③恐れ入りますが、はがきの郵送料はカンパをお願いします。
はがき投函の締め切りはありませんが、なるべく早く気持ちを届けてください。

皆様ご承知の通り、『県民投票条例制定』の議案は10月11日、県議会において、私たちが提出した条例制定請求、修正条例案共に、否決されました。

8月27日に条例制定請求署名を提出して以後も、県内各地で、県会議員への働きかけ、県議との意見交換会、お手紙アクションなど、出来る限りの活動を行い、議会採決の日を迎えましたが、言葉に尽くしがたい、無念さが残る結果となりました。

しかし、私たち18万人の意志と行動が完全に消えた訳ではありません。

この県民投票署名の意志を活かし、『浜岡原発再稼働の是非について、県民投票を実現する』最後の方法が、1つ残っています。

それは、川勝県知事によって、**条例修正案を県議会に再提出してもらう**方法です。そして、川勝知事はその気持ちもあると聞いています。

そこで、皆さんのお力を借りて、最後に受任者の願いを結集し、知事に『**修正案提出の要望**』を届けたいと考えました。この署名による法的な効果は何もありませんが、私たちの願いを実現するために、最後まで出来る事を行いたいと思います。

浜岡県民投票のアクションは大きな結果を残しました！

皆さんの最後の行動が、県民投票実現の可能性を広げます。最後まで、出来る限りのアクションを続けたいと思います。私たちの願いは、県議会の議決で消えるものではない事を、示したいと思います。なにとど、ご協力をよろしくお願いします。

知事にはがきで
願いを届けまし
よう！

月 日
「原発県民投票・静岡」

県民投票静岡



私たちの県民投票条例を求める署名活動は、マスコミも評論家も指摘しては
いませんが、日本の住民投票請求活動の歴史に、画期的な1歩を残しています。

それは、川勝知事が県議会において「県民投票が実施され、県民の意志が浜岡
原発の再稼働を望まないとなったらどうするのか」という議員質問に対して、
「**県民の意志を尊重し、廃炉も含めて検討し、その場合は浜岡原発関連で働く4000
人の雇用も県で考えていく**」という答えを導き出すことが出来た点です。

かつて、原発立地県の知事がその様な覚悟（政策的展望）を語った事はあつ
たでしょうか？

川勝知事は、自発的にこう発言したのではありません。

署名をした18万人の意志と、その後も止むことなく、多くの方が県民投票を
求めて、知事や県議会議員に気持ちを届け続けた行動に揺り動かされて、考え
を深めていった結果の『言葉』なのです。

私たちの署名活動が無かったら、知事言葉は在りえなかったでしょう。

もう1点、県議会で県民投票条例は修正案も否決されましたが、**県議会議員
の27%の人が「県民の声を聴こう」と動いて下さいました**。もし、私たちが署名
活動を行なわなければ、議員さんたちに浜岡原発の再稼働について真剣に考え
てもらふ事もきっと無かったでしょう。

議員さんたちに直接、会って話を聞いていく努力を多くの方がしました。
今まで、私たち県民が毎日、県内各地で県議会の議案について、こんなにも動い
たことがあったでしょうか？ この中で、県民投票について、お門違いの意見
を言う県議さんや、原発の安全性に疑問を持たない県議が居る事も、痛いほど
知る機会になりました。

民主主義はお任せ有権者の中に、成熟する事はありません。
どんな時も、私たち1人1人が未来への責任者なのだという強い意識を皆さんと共
に分かち合えたことに、心から感謝し、最後の可能性の諦めずアクションを続
けたいと思います。

いのちの事は、私たちの意見で決められる社会を創るまで歩みましょう！